

## 農政概論

講師名	県立大准教授、 安江 紘幸主任研究員、 農業会議職員、 農林水産部職員	実務経験等	県立大准教授：岩手県立大学における経営・経済農学の研究・講義の経験を活かし、日本の食料、農業及び農村に関する政策や食料自給率と食品産業界事業者との連携などについて講義を行う。 安江氏：大学及び東北農業研究センターにおける農業経済学の研究経験を活かし、全国の過疎化の現状と農業農村の活性化対策、農村活性化のための地域合意形成及びビジョン作成方法について講義を行う。 農業会議職員：(一社)岩手県農業会議での勤務経験を活かし、農業経営を行ううえで重要な法律(農業経営基盤強化促進法、農地法等)について講義を行う。
-----	--	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
全学科共通・専門科目	全学科	必修	2	通年	30	2
使用教科書・副教材	講師作成の資料を配布					
授業の目的	農業経営に関わる法律や制度、及び仕組みを理解し、本県の農業や農政の現状について学習するとともに、世界に対応する農業政策について理解を深める。					
授業の到達目標	食料・農業・農村に関わる現状、課題及び施策への知識を深める。我が国の農業施策について基礎的な知識と経営者の視点から考察と改善を図る能力を身につける。					

月日	学 習 項 目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備考 (提出物等)
5月1日	日本の食料、農業及び農村に関する政策	日本の農業問題と農業政策について、高齢化や人口減少、グローバル化の状況と課題について	2	講義	県立大学 新田准教授 (小テスト)
	食料自給率と食品産業界事業者との連携	食料自給率の基本的な考え方と消費動向と食品産業界事業者との連携について(ディスカッション形式で学ぶ)	2	講義	県立大学 新田准教授
6月2日	部長講話	岩手県農政について	4	講義	部長講話 レポート
6月5日	岩手県農政の現状と課題の概要(1)	岩手県の農政の現状と課題(園芸分野) 園芸産地の育成について	2	講義	農産園芸課
	岩手県農政の現状と課題の概要(2)	岩手県の農政の現状と課題(畜産分野) 県産畜産物のブランド化、担い手育成、家畜伝染病対策等について	2	講義	畜産課
6月8日	岩手県農政の現状と課題の概要(3)	担い手育成、野生鳥獣害の被害の状況とその対策について	2	講義	農業振興課
	岩手県農政の現状と課題の概要(4)	岩手県の過疎化の現状と農業農村の活性化対策について	2	講義	農業振興課、 農村計画課
8月26日	岩手県農政の現状と課題(5)	岩手県の農政の現状と課題(農産分野) 新品種育成と販売対策と水田農業の方向性等について	2	講義	県産米戦略室
10月22日	農業団体の役割	農協、農業委員会、共済組合の役割について	2	講義	団体指導課
11月6日	農業経営の実際	県内先進経営体の戦略について	4	講義	農業者等 レポート
12月4日	農村の振興対策	全国の過疎化の現状と農業農村の活性化対策について事例学習する。	2	講義	東北農業研究センター 安江 紘幸 (小テスト)
	農村の振興対策	農村活性化のための地域合意形成及びビジョン作成手法について(ワークショップ形式で学ぶ)	2	講義	安江 紘幸
12月11日	農業法規	農業経営を行ううえで重要なルール(農業経営基盤強化促進法、農地法等)について	2	講義	農業会議 (小テスト)
合計			30	時間	

### 成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

レポートの内容評価、提出物の内容及び出席状況により、成績評価する。  
 評価割合：レポート60%、平常点40(小テスト30%、出席状況10%)

### 履修に当たっての留意点等

パワーポイント等により授業を展開する。講義を聞き、メモをとりながら授業内容を理解すること。また、外部講師が多いため、内容についての質問等はその場で速やかに行い、理解を深めるようにすること。